

製品名: FNTA ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87561**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:44 kDa; Observed MW:44 kDa

抗原情報

遺伝子名	FNTA
別名	FPTA; PTAR2; PGGT1A
遺伝子 ID	2339
SwissProt ID	P49354
免疫原	ヒト FNTA の合成ペプチド

背景

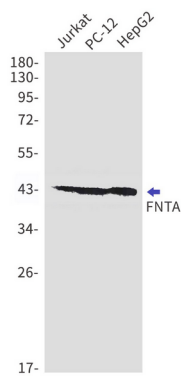
プレニルトランスフェラーゼは、C末端 CAAX ボックスを持つタンパク質のシステイン残基に、ファルネシル基またはガラニルガラ

ニル基をチオエーテル結合で付加することができる。CAAX ゲラニルゲラニルトランスフェラーゼと CAAX ファルネシルトランスフェラーゼは、同じ α サブユニットを共有するが β サブユニットが異なるヘテロ二量体である。この遺伝子は、これらのトランスフェラーゼの α サブユニットをコードしている。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。関連する偽遺伝子が 11 番染色体と 13 番染色体上に同定されている。[RefSeq 提供、2010 年 5 月]

研究分野

-

画像データ



FNTA 抗体 (1:1000 希釈) を使用した Jurkat、PC-12、HepG2 細胞溶解物中の FNTA のウエスタン ブロット検出。